

キャラクター名
明津 耕 (あくつ おさむ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	探偵	カヴァー	高校生探偵
	サラマンダー					
オプション			年齢			性別
覚醒	感染	衝動	妄想		初期侵食率	28 %
出自	権力者の血統		経験	ニュース	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避			知覚	1		意志	3		調達	1	
運転 :バイク	2		芸術 :			知識 :			情報 :裏社会	2	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :噂話	1	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
1+2+3	RC	6r+4		15		侵蝕10 装甲無視
	RC	7r+4		18		侵蝕10 装甲無視
1+3+7	RC	9r+4		15		侵蝕10 装甲無視
1+2+3+7	RC	7r+4		33		侵蝕14 装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ギランティプラス	
コネ : 手配師	
コネ : 要人への貸し	
コネ : 噂好きの友人	
コネ : 情報屋	
インクリボン	

合計装甲 : 0 合計回避 : 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
変異種	P	N		
父親	P 尊敬	N 嫌悪		
友人	P 友情	N 侮蔑		
	P 誠意	N 隔意		
	P 慕情	N 嫌気		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 10

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果 :	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果 :	コスト分のHPで復活							
C : サラマンダー	3	2	Xジャー					
効果 :	C値-LV							
コキュートス	5	4	Xジャー					
効果 :	シーン攻撃。攻撃力LV×3。シナリオ3回							
結合粉砕	5	4	Xジャー					
効果 :	ダイス+LV。装甲無視							
氷盾	5	2	オート					
効果 :	ガード値+LV×5							
炎陣	1	2	オート					
効果 :	カバリング							
先陣の火	5	2	セットアップ					
効果 :	行動値+LV×5							
プラズマカノン	1	4	メジャー				100↑	
効果 :	攻撃力LV×5							
氷雪の守護	5	3	オート					
効果 :	ダメージ軽減Lv+1D。1ラウンド1回							
吹雪の守護	1	2	オート				80↑	
効果 :	氷雪の守護の対象を範囲(選択)に変更							
トーチライト	1							
効果 :								
クロスバースト	1							
効果 :								
不燃体	★							
効果 :								
凍結保存	★							
効果 :								

高校生と探偵、UGNイリーガルの3足の草鞋を履く18歳。

元々は進学校に通う普通の学生であったが、1年前に友人が殺人事件に巻き込まれ、冤罪を着せられた際にそれを晴らすために証言や証拠を集めて奔走。父の伝手も使って警察や弁護士に働きかけ、冤罪を晴らしたことがメディアに取り上げられ、高校生探偵として一躍時の人となる。そのままメディアの後押しもあって高校生ながらに探偵事務所を設立。依頼を受けたり警察への協力を行っていたが、ある時FHの起こした事件を追っている内に感染。そのままUGNと共闘し、その後はUGNイリーガルとしての活動も行っている。

話題の高校生探偵としてメディアに取り上げられることや、有名人としてちやほやされること自体は好んでいる。ただ彼のオーヴァードとしての能力は捜査や推理に役立つものではなく、彼自身特別な頭脳を持っているわけでもない。彼が探偵として挙げた成果は、足く現場に足を運んでの地道な調査やコネを使った情報収集など泥臭い手法によるものである。当然そう言った地道な手法は苦勞も多く、探偵としての名声を保つ事に疲れて来てもいるが、折角築いた名探偵の地位を投げ出すのもそれはそれで惜しいもの。今日も彼は靴底を擦り減らしながら現場に通い、陰で悪癖を牽しながら探偵業を続けている。